

セイカでポン 4 TAIKAI REPORT

大会レポート

Written by exit

こんにちは。
第4回セイカでポンで、司会を務めさせていただいたexitです。

どうどう このレポートも4回目になりました。
記憶を呼び戻しながら、大会当日の様子と私の感想をお届けしたいと思います。
今回もよろしくお付き合いください。

はじめ

3回目の大会からちょうど1年、精華大学の学園祭にあわせて、またもや「第4回セイカでポン」が行われることになりました。

メインスタッフも全員大学を去り、第3回で最後と思っていました。しかし、64版の発表や伝言板、メールでの期待の声で、スタッフのやる気が呼び起こされ、「今回もやろう」ということになりました。

開催日は祝日の水曜日。遠くの方は参加しにくい日です。これだと、参加者は前回より少なくなると感じていました。

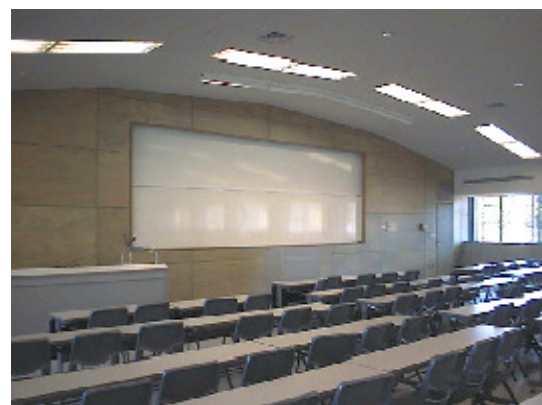
ところが、終わって見れば参加人数、全体のレベルともに過去最高。初めての方もかなり多く、いい意味で予想を裏切られた大会でした。

今まで、パネポンが好きな人が集まって対戦・交流できる場所として、このイベントをやってきましたが、今回あらためて、皆さんパネポンがほんとう好きなんだなあということと、そんな思いを持った人同士が結び付けられるインターネットのおもしろさを感じました。

それがよくわかるのが参加地域の幅広さです。北は新潟から西は北九州まで、本当に遠くからもたくさん来ていただいてうれしかった。お忙しい中来ていただいた方も、本当にありがとうございました。

今回はトーナメントに参加された方だけでも55人でしたので、総参加者数は70人以上だったと思います。

準備不足もありましたが、予想以上の参加者で、司会(私)は試合が同時に行われる中、走り回ってメチャ疲れしました。卒業後の運動不足がたたっています。(笑)



準備前の会場
風の前の静けさといった趣のある朝の会場です

フリープレイ

今回はトーナメントが始まるまでに2時間ほどフリープレイの時間があり、台数も多かったので対戦が盛んに行われてました。

私も今までより対戦する機会があって、うれしかったですね。

見知らぬ人との対戦は、なかなか機会がないので良いのですが、トーナメントまでにウォーミングアップ…ではなくヒートアップして燃え尽きそうな人も^M;

そして、いよいよトーナメントの開始です。

トーナメントの形式

今回もトーナメントを3つに分けました。ルールも前回とほぼ同じです。

トーナメントルール

対戦時のゲームモード

初級 2 PVSモードLV5 ハンデなし

中級 2 PVSモードLV6 ハンデなし

上級 2 PVSモードLV7 ハンデなし

上記の対戦でカウンターストップ（タイムが9'59を過ぎる）、及びスーフファミがフリーズ（停止）した場合は、その時点での優劣に関係なく

スコアアタック LV5 一本勝負

それでも勝負がつかない（引き分けた場合）は

ジャンケン

今回もこの形式についてはスタッフのあいだで色々議論があったのですが、結局この形になりました。

しかし、このルールでは収まらないほどの激しい対戦が繰り広げられることになるとは..。

レベルの高さ

とても初級、中級と思えない試合ばかり^M;

どのトーナメントに参加するかは、参加者の方々におまかせしているのですが、強い人が初級、中級に行っている場合もあるのですが、今回は全体的にレベルも高かったように思います。

初級で6連鎖、中級で十数連鎖、上級はカウンターストップの連続。見てるほうは、驚くやらあきれるやら（笑）

思わずこう言いたくなりました。

「すでにパネポンという鉱脈は掘りつくされつつある」と

後日談になりますが、flareさんに送ってもらった冊子を見て、よりその思いを深くしました。

同色での12個ループ消しの表紙(写真)に絶句。

理論上はもっともっといけるらしいです。

恐れ入りました(笑)

ここまで遊んでもらえるゲームは稀でしょう。続編にも、その奥の深さを受け継いで欲しいものです。

同色12個ループ消し…同色のパネル12個を2×2のパネルの外側に配置し、同時に消す超絶技。

中級決勝戦

今回、中でも中級の決勝は印象的でした。



13連鎖以上を繰り出すわかばさん

VS

地道に勝ち抜いてきたタケさん

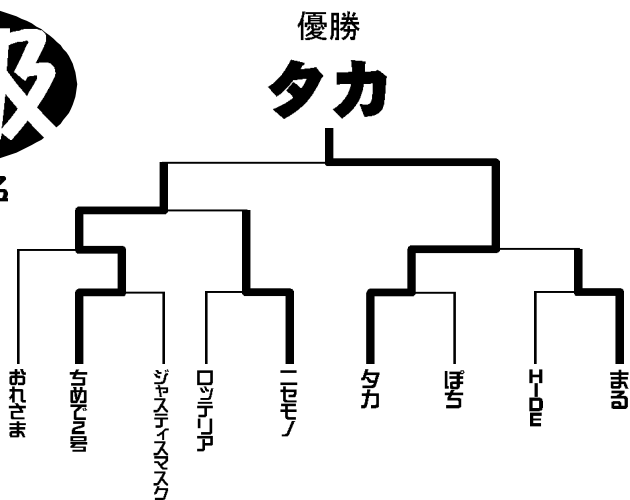
まさに連鎖と返し、剛と柔の対決という感じ。すでに上級の対戦レベルでした。激しい連鎖とそれを確実に返していく応酬の連続。

両者一步も譲らず、1本ずつとっての3本目。長時間にわたる激戦は、次々と降ってくる分厚いお邪魔パネルを返し続けたタケさんが見事逆転勝利をおさめました。まさに”柔よく剛を制す”の諺のごとく劇的な幕切れでした。

第4回セイカでポントーナメント表

初級

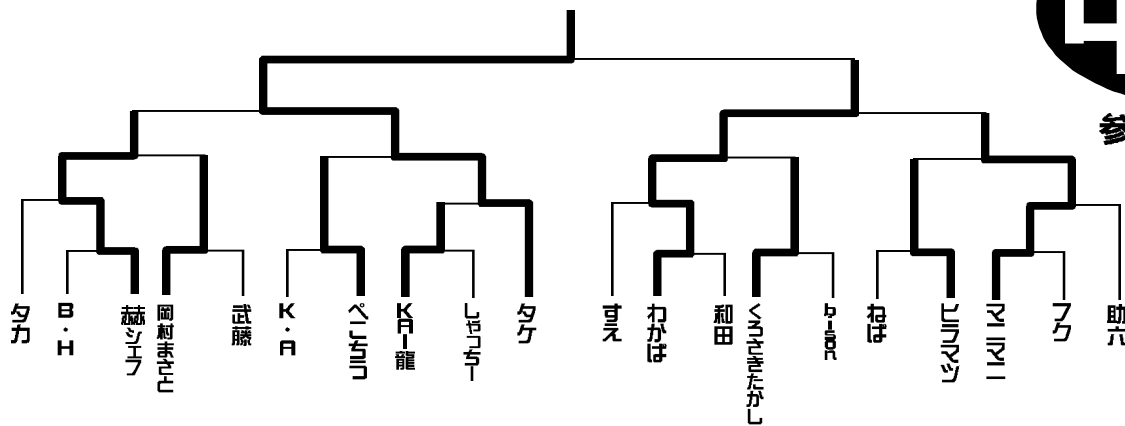
参加者9名



優勝
タケ

中級

参加者20名

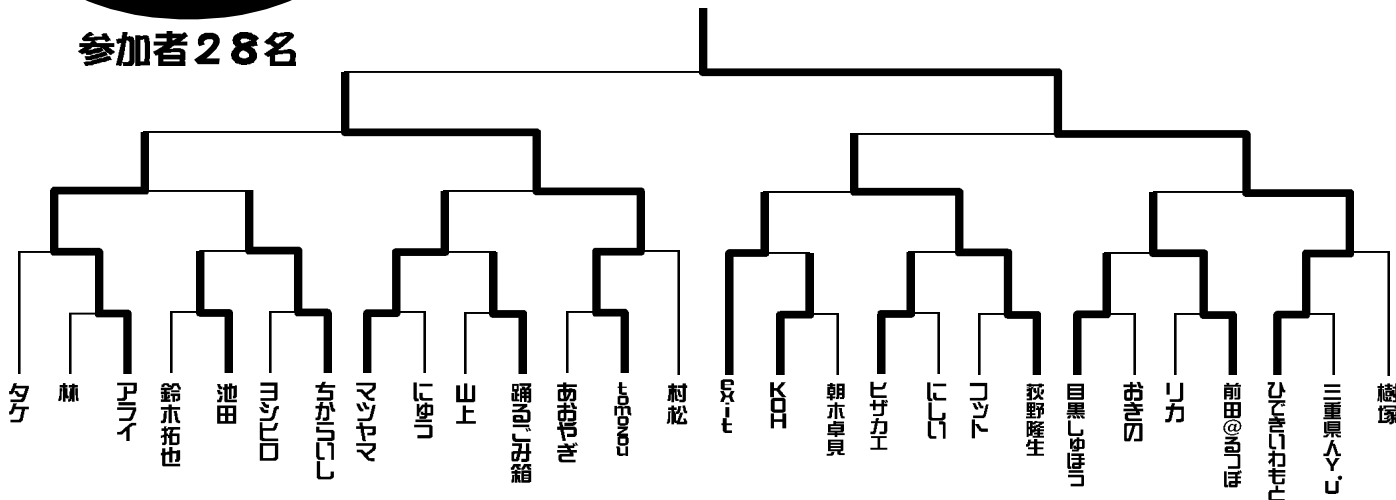


上級

参加者28名

優勝

ひできいわもと



うん、スゴイ。

「これまで、中級がハイレベルだと上級は大変だなー」と思っていたのですが、もちろんそんな心配は微塵も必要なく(笑) 今まで全く出なかったカウンターストップが続出。

準決勝以上はすべてカウンターストップというとんでもない試合ばかりでした。見るほうも息がつまりますが、20分近く戦ってさらにスコアアタックをするってのは、ホントに格闘技やってみたいですね(笑)；

もうひとつ印象的だったのは、激しい対戦でのフリーズの後、スコアアタックで敗れた方のセリフ。

「言、言わせてください。

.....

対戦なら負けねーぞ、ちきしょー」

会場爆笑。 「たしかに」と共感してしまいました。私なんかは、スコアアタックが大の苦手なので、なおさら思っていました。



パッドゴムの交換

激しい対戦の連続で途中で調子の悪くなったパッドのゴムを交換する場面も。

スタッフの戦績

上級トーナメントでは、セイカでポンのメインスタッフも参加していましたが、早々に敗れ去りました(笑)

「大会準備に追われてて...」と言い訳したいところですが、ただ一人、tomozouさんだけは決勝戦まで勝ち残りました。

カウンターストップ後のスコアアタックで惜しくも敗れましたが、堂々の準優勝。本番に弱いというジレンスを4回目ですべてうち破りました。

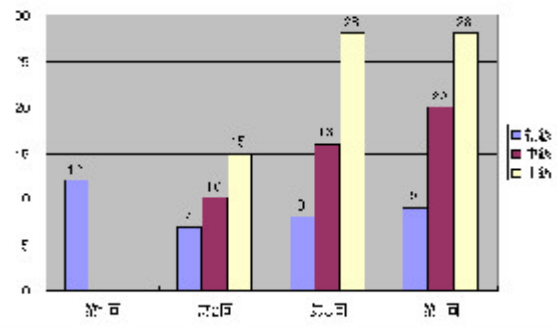
トーナメントの参加者数

今回の各トーナメントの参加者数は、**初級 9 人・中級 20 人・上級 28 人**でした。

見事に、見事に逆三角形を描いてますね。この傾向はトーナメントが3つになった第2回大会からずっとです。

振り返る意味もこめて、今までの大会の参加者数の推移をグラフにしてみました。

各トーナメント参加者の推移



やはり セイカでポン参加人口は上級者化の一途をたどり続けているようです。

大会の新鮮味のためにも、もっと初心者に布教したいところ。

今回当日スタッフで手伝ってくれた武藤君は、この大会の準備の期間中にパネポンに目覚めて見る間に上達していってました。

潜在的なパネポンユーザーは、すぐ隣にもいるものなのかもしれません。

賞品

今回は各トーナメントの優勝、準優勝それからフリープレイ時に行われたスコアタックの優勝者に差し上げました。
その賞品とは...

各トーナメント優勝

- ・表彰状
- ・パネルを型どった手作りクッキー (スペシャルサンクス しゃっちーさん)
- ・味ポン 初・中・上級にあわせて小・中・大

各トーナメント準優勝

- ・表彰状
- ・パネルを型どった手作りクッキー

今回は、何かポンのつくものをということで、トロフィーがわりに味ポンをさしあげました。大会時の季節は冬。鍋がおいしい。食べながら、あの日の戦いを思い出していただいたことでしょう (笑)



表彰式 / 優勝者列伝

激しい戦いを勝ち抜いた優勝・準優勝の方々に毎回楽しい(?)賞品が手渡される。



会場風景

テレビに向かう2人と後ろで見つめるギャラリー、たくさん対戦台がありすぎてどれを見たらいいのやら。



CM

上級トーナメントの準備ができるまでの間、パネポンのCMを上映。

響き渡る和鼓の音に、みなさん大爆笑!

前回も上映したので私には懐かしく、最高に楽しいCMでした。

最後に

運営方法や当日の形式という準備不足など反省点多かったのですが、「ホントに楽しかった。」と言える大会でした。

次があるならば、今度は64版でしょうか?

”64版早く出してくれハガキ”を送りましょう

そろそろ何か具体的な情報が出るかもしれません。それまで、じっくり3Dスティックに指をなじませておきます(^_^);

それでは、またお会いできる日を楽しみにしています。